

## A. 展覧会活動

### 1. 特別展 「富士山に憑かれた男 北斎の152景」

期 間 平成22年4月3日～5月16日  
休館日 月曜日（5/3は開館、5/6は休館）／開館日数：38日間  
開館時間 9時30分～17時30分（入館は17時まで）  
入館料 一般1,000円（800円）、高校・大学生700円（500円）友の会会員500円  
中学生以下・障害者手帳呈示の方無料、団体（10名以上）2割引、（ ）内は前売り料金  
共 催 静岡新聞社・静岡放送  
後 援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会  
講演会 題名／「富嶽三十六景の占める位置」  
日時／4月24日（土） 13時30分  
講師／大久保純一氏（国立歴史民俗学博物館教授）  
会場／講座室（当日入館者対象）  
セミナー 日時／会期中の第2・第4土曜日 10時と14時 （展示室内）  
講師／当館学芸員  
内 容 浮世絵界の奇才葛飾北斎（1760-1849）の生誕250周年を記念し、その代表作として世界的な評価を受ける『富嶽三十六景』全46図（表富士36図、裏富士10図）に同図ながら色変わりりの4図を加えた50点と和綴じ本であったため全作品の展示は難しかった『富嶽百景』（額装102点と和綴じ本3冊）の合計155点を展示。北斎の二大富士シリーズ全図を一同に展示した。  
入館者 有料 5,535名 無料 1,138名 合計 6,673名

### 2. 館蔵展 「収蔵品セレクション展 幕末・明治・大正…静岡に吹く風」

期 間 平成22年5月22日～7月4日  
休館日 月曜日／開館日数：38日間  
開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）  
入館料 一般300円、高校・大学生100円、友の会会員・中学生以下・障害者手帳呈示の方無料、団体（10名以上）2割引  
セミナー 日時／会期中の第2・4土曜日 14時 （展示室内）  
講師／当館学芸員  
内 容 明治以降に発展した近代日本画、幕末・維新の時代に静岡と縁のあった偉人の書、明治・大正期の輸出静岡茶に使用された版摺り蘭字ラベルや現在唯一輸出用茶箱の形として残る茶箱、浮世絵版画と県版画界初期の作家作品、静岡市指定文化財「駿府鳥瞰図」など駿府博物館の収蔵品の中から幕末・明治・大正期の静岡を感じ取れる作品をジャンルを問わず展示した。  
入館者 有料 593名 無料 285名 合計 878名

### 3. 企画展 「今、そして一 県版画招待作家21世紀展Ⅱ」

期 間 平成22年7月10日～8月29日  
休館日 月曜日（7/19は開館、7/20は休館）／開館日数：44日間  
開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）  
入館料 一般500円、高校・大学生300円、友の会会員250円、中学生以下・障害者手帳呈示の方無料、団体（10名以上）2割引  
後 援 静岡新聞社・静岡放送、静岡県教育委員会、静岡県版画協会  
セミナー 日時／7月10日（土） 13:30～ 三村博司氏（国画会会員）  
7月17日（土） 13:30～ 杉山英雄氏（国画会会員）

7月24日（土） 13:30～ 太田策司氏（国画会会員）  
7月31日（土） 13:30～ 林 和一氏（春陽会会員）  
8月1日（日） 13:30～ 藤田 泉氏（国画会会員）  
8月7日（土） 13:30～ 小田淑郎氏（国画会準会員）  
8月8日（日） 13:30～ 鈴木修一氏（国画会会員）  
8月14日（土） 15:00～ 伊東繁特氏（春陽会会員）  
8月21日（土） 13:30～ 前田光一氏（春陽会会員）  
8月28日（土） 13:30～ 鈴木敏靖氏（日本版画協会準会員）（いずれも展示室内）  
内 容 昨年度から3ヵ年継続事業として21世紀の県版画作家の活動に焦点を当て、その作品を通して現況と作家の仕事を紹介することを目的とした企画展の2年目にあたる。今年は県版画界において活発的な活動を展開される三村博司・杉山英雄・太田策司・林和一・藤田泉・伊東繁特・前田光一氏の寄贈7作家と鈴木修一・小田淑郎・鈴木敏靖の3作家を招待し10作家68作品を展示した。期間中、作家本人によるギャラリートークを開催し、その活動や制作技法などを生で伝える事ができた。  
入館者 有料 616名 無料 506名 合計 1,122名

### 4. 館蔵展 「近代日本画コレクション名品展～明治・大正・昭和～」

期 間 平成22年9月4日～10月17日  
休館日 月曜日（9/20、10/11は開館、9/21、10/12は休館）／開館日数：38日間  
開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）  
入館料 一般300円、高校・大学生100円、友の会会員・中学生以下・障害者手帳呈示の方無料、団体（10名以上）2割引  
ミニ講座 題名／「技法から見る日本画の近代から現代へ」  
日時／9月11日（土）・25日（土）9時30分の部と13時30分の部  
協力／NPO文化財を守る会  
講師／静岡文化財保存修復センター 繁村 周氏（東京藝術大学美術学部日本画専攻卒）  
会場／講座室（別途募集）  
セミナー 日時／会期中の第2・4土曜日 14時 （展示室内）  
講師／当館学芸員  
内 容 所蔵品の近代日本画を制作年代順に明治・大正・昭和の3期に分けて展示。明治以降、新しい言葉として生まれた「日本画」が画家の努力精進によってどのように変化、展開したかを製図、技法、表現などから東西両画壇の代表作家の作品を通して紹介した。関連企画として、講義と実技を通して鑑賞を含めて日本画への理解を深めてもらう目的で「技法から見る日本画の近代から現代へ」を開催した。  
入館者 有料 601名 無料 259名 合計 860名

### 5. 特別展 「摘水軒所蔵 絵で見る江戸の博物誌 鯨・駱駝・猿・狸・蝶・鷹・梟・・・」

期 間 平成22年10月22日～12月5日  
休館日 月曜日／開館日数：39日間  
開館時間 9時30分～17時30分（入館は17時まで）  
入館料 一般800円（600円）、高校・大学生500円（400円）友の会会員400円、中学生以下・障害者手帳呈示の方無料、団体（10名以上）2割引、（ ）内は前売り料金  
共 催 静岡新聞社・静岡放送  
特別協力 財団法人摘水軒記念文化振興財団  
後 援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会  
講演会 題名／「摘水軒記念文化振興財団所蔵品に見る江戸の花鳥画・動物画」  
日時／10月30日 13時30分  
講師／伊藤紫織氏（千葉市美術館学芸員）

会場／講座室(当日入館者対象)  
 日時／会期中の第2・第4土曜日 14時 (展示室内)  
 講師／当館学芸員  
 内容 江戸の後期になると外国から珍しい動物や鳥が入ってきたが、実際に見る機会は少なく動物画が人気を博した。千葉県柏市の摘水軒記念文化振興財団が所蔵する幕末から明治初期の動物画の中から伊藤若冲が描いた鶴や鷹、谷文晁の駱駝、葛飾北斎の鷲、岡本秋暉の孔雀など48点を展示した。合わせて展覧会図録を制作した。  
 入館者 有料 1,792名 無料 518名 合計 2,310名

## 6. 企画展 「手島右卿と静岡の書家展」

期間 平成22年12月11日～平成23年1月23日  
 休館日 月曜日(1/10日は開館、12/27～1/3、1/11は休館)、／開館日数：32日間  
 開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)  
 入館料 一般600円、高校・大学生300円、友の会会員300円、中学生以下・障害者手帳呈示の方無料、団体(10名以上)2割引  
 後援 静岡新聞社・静岡放送、静岡県教育委員会、静岡県書道連盟、静岡市書道協会  
 協力 光記念館、財団法人独立書人団  
 講演会 題名／「手島右卿と静岡の書」  
 日時／12月19日(日) 13時30分  
 講師／柿下木冠氏(財団法人独立書人団常務理事)  
 会場／展示室(当日入館者対象)  
 ワークショップ 題名／「マイ筆をつくり、甲骨文字で自画像を書く」  
 日時／1月10日(月・祝) 10時と13時30分  
 講師／大杉弘子氏(現代書家)  
 会場／講座室(別途募集)  
 デモンストラション 「書の制作披露」  
 日時／1月16日(日) 11時  
 講師／柿下木冠氏、大石千世氏、外山博彰氏、是永尚志氏(以上独立書人団)  
 会場／講座室(当日入館者対象)  
 内容 文化功労者の手島右卿は戦後しばしば静岡市を訪ね、県内の多くの書家はその指導を仰いだ。展覧会では手島右卿とその指導を受け昨年当館が寄贈を受けた藤浪仁卿や山崎大抱、太田京子ら故人から柿下木冠、大杉弘子、大石千世ら現在も活躍する13作家の作品を展示した。期間中には講演会、ワークショップ、デモンストラクションを実施し、いずれも好評を博した。  
 入館者 有料 1,537名 無料 446名 合計 1,983名

## 7. 開館40周年記念企画展 丁子屋コレクション「歌川広重東海道五拾三次 全揃い(保永堂版)」

期間 平成23年1月29日～3月13日  
 休館日 月曜日／開館日数：38日間  
 開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)  
 入館料 一般500円、高校・大学生300円、友の会会員250円、中学生以下・障害者手帳呈示の方無料、団体(10名以上)2割引  
 後援 静岡新聞社・静岡放送、静岡県教育委員会  
 協力 丁子屋  
 講演会 日時／2月11日(金・祝) 13時30分  
 講師／柴山信夫氏(丁子屋12代目主人)  
 題名／「コレクション収集裏話」

会場／講座室(当日入館者対象)  
 講師／日比野秀男氏(常葉学園大学造形学部長)  
 題名／「広重の五拾三次」  
 会場／講座室(当日入館者対象)  
 日時／会期中の第2・4土曜日 14時 (展示室内)  
 講師／当館学芸員  
 内容 とろろ汁で知られた静岡市駿河区丸子の丁子屋12代目主人、柴山信夫氏が歌川広重の「東海道五拾三次」(保永堂版)全揃い55図を所蔵している。30年以上掛けて欧米のオークションで入手していったというコレクションの質は良好で、人気テレビ番組「開運!なんでも鑑定団」ですべて一定の水準を満たす素晴らしいコレクションと高く評価され5500万円の鑑定額がついた。駿府博物館の開館40周年記念展の第1弾として東海道五拾三次全55図と当時の東海道の旅に関する資料を展示した。  
 入館者 有料 1,901名 無料 539名 合計 2,440名

## 8. 第14回駿府博物館講座生合同作品発表会

期間 平成23年3月17日～20日  
 休館日 なし／開館日数：4日間  
 開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで) ※最終日は16時まで  
 入館料 無料  
 内容 当館主催の日本画、水墨画、仏画・写経、版画、水彩画、油彩画、短歌の7講座の受講生作品と古文書講座の内容紹介を目的に、展示室を使用して合同展示会を開催した。  
 出品者数 100名 作品総数110点  
 入館者 無料 213名 合計 213名

## 9. 第34回蘇峰会静岡県書道展

期間 平成23年3月24日～28日  
 休館日 なし／開館日数：5日間  
 開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)  
 入館料 無料  
 共催 財団法人蘇峰会、静岡新聞社・静岡放送  
 後援 静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、静岡県書道連盟  
 内容 徳富蘇峰の顕彰と書道の発展・普及を目的に開催。応募総数2,340点の中から最高賞の「徳富蘇峰賞」を含む大賞55点、優秀賞253点、合わせて308点を展示した。  
 ◆最高賞「徳富蘇峰賞」受賞者(6名)  
 稲益 佑人(小2) 石田 梨瑠(小4) 稲益 香依(小6)  
 半田江里佳(中2) 山本 晴加(高2) 小倉 幸泉(一般)  
 入館者 無料 388名 合計 388名

22年度展覧会入館者	有料	12,575名 (31,562名)	無料	4,292名 (12,639名)	合計	16,867名 (44,201名)
------------	----	----------------------	----	---------------------	----	----------------------

※( )内21年度

## B. 教育普及活動

### 1. 年間講座

1)古文書講座 第1・3土曜日 13時30分～15時30分  
 講師 中村典夫先生(駿河古文書会副会長)

- 期 間 平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月 1 2 カ月 月 2 回 延べ参加人数 4 8 0 名
- 2) 水墨画講座 第 2・4 日曜日 12 時 30 分～14 時 30 分  
講 師 菊地 静寿先生 (日本画家)
- 期 間 平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月 1 2 カ月 月 2 回 延べ参加人数 2 7 2 名
- 3) 日本画講座 第 2・4 日曜日 15 時～17 時  
講 師 菊地 静寿先生 (日本画家)
- 期 間 平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月 1 2 カ月 月 2 回 延べ参加人数 2 8 2 名
- 4) 版画講座 第 1・3 木曜日 13 時 30 分～15 時 30 分  
講 師 杉山 彰先生 (国画会準会員・静岡県版画協会理事)
- 期 間 平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月 1 2 カ月 月 2 回 延べ参加人数 2 7 8 名
- 5) 短歌講座 第 2・4 木曜日 13 時～16 時  
講 師 山口 静子先生 (静岡県歌人協会理事)
- 期 間 平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月 1 2 カ月 月 2 回 延べ参加人数 2 5 8 名
- 6) 油絵講座 第 1・3 金曜日 13 時 30 分～15 時 30 分  
講 師 池谷富美子先生 (国画会準会員)
- 期 間 平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月 1 2 カ月 月 2 回 延べ参加人数 1 5 0 名
- 7) 水彩画講座 第 2・4 金曜日 14 時～16 時  
講 師 南城由起子先生 (日展会友・白日会会員・県水彩画協会委員)
- 期 間 平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月 1 2 カ月 月 2 回 延べ参加人数 8 3 2 名
- 8) 仏画・写経講座 第 1・3 日曜日 13 時 30 分～15 時 30 分  
講 師 藤 白魚先生 (仏画師)
- 期 間 平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月 1 2 カ月 月 2 回 延べ参加人数 4 3 2 名

参加者合計 2, 9 8 4 名

## 2. 短期講座

- 1) 第 7 回短期歴史講座 「戦国時代の静岡」  
第 1 期「知られざる歴史の一面」  
期 間 平成 22 年 6 月～7 月 計 5 回 土曜日  
会 場 静岡労政会館 6 階ホール (静岡市葵区黒金町)
- 第 1 回 6 月 5 日「戦国合戦史～遠駿を中心に～」  
講 師／柴 裕之氏 (千葉県文書館嘱託・東洋大学非常勤講師)
- 第 2 回 6 月 19 日「豪商友野氏と戦国経済交易」  
講 師／糟谷幸裕氏 (一橋大学大学院博士課程)
- 第 3 回 6 月 26 日「今川・武田氏の水軍史」  
講 師／大石泰史氏 (戦国史研究会事務局長)
- 第 4 回 7 月 10 日「遠駿の城と攻防戦」  
講 師／長谷川弘道氏 (実践女子学園高校講師)
- 第 5 回 7 月 24 日「戦国時代の女性たち～甲駿の女性～」  
講 師／小和田美智子氏 (静岡英和学院大学・静岡県立大学非常勤講師)

延べ参加人数 6 1 0 名

- 第Ⅱ期「武田・徳川氏の攻防」  
期 間 平成 22 年 9 月～11 月 計 5 回 土曜日  
会 場 静岡商工会議所 5 階ホール (静岡市葵区黒金町)

- 第 1 回 9 月 4 日「武田氏駿河侵攻の意義と戦略」  
講 師／小笠原春香氏 (神奈川県座間市市史編纂編集員)
- 第 2 回 9 月 18 日「武田・徳川氏の攻防史」  
講 師／丸島和洋氏 (慶応義塾大学非常勤講師)

- 第 3 回 10 月 2 日「武田氏の城とその築城技術」  
講 師／平山 優氏 (山梨県立博物館主査)
- 第 4 回 10 月 16 日「武田旗下の武将と駿河支配」  
講 師／鈴木将典氏 (江東区中川船番所資料館学芸員)
- 第 5 回 11 月 6 日「武田・徳川・織田氏と遠江・駿河」  
講 師／小和田哲男氏 (静岡大学名誉教授・文学博士)

延べ参加人数 6 4 0 名

- 2) 駿府博物館・静岡県埋蔵文化財調査研究所提携考古学講座  
「遺跡は語る～発掘調査の現場から～」  
期 間 平成 22 年 10 月～平成 23 年 2 月 5 ヶ月 計 5 回 土曜日  
会 場 駿府博物館講座室

- 第 1 回 10 月 9 日「愛鷹山周辺の旧石器世界」  
講 師／柴田亮平氏 (財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所常勤嘱託員)
- 第 2 回 11 月 13 日「絵画土器に見る弥生人の精神世界」  
講 師／岩本 貴氏 (財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所調査第二係長)
- 第 3 回 12 月 11 日「横穴式石室と副葬品から見た駿河東部地域の実像」  
講 師／大谷宏治氏 (財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所調査研究員)
- 第 4 回 1 月 15 日「平安時代のタイムカプセル 経塚」  
講 師／井鍋誉之氏 (財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所調査研究員)
- 第 5 回 2 月 12 日「出土銭から垣間見る中世人」  
講 師／岩名建太郎氏 (財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所調査研究員)

延べ参加人数 2 1 0 名

- 3) 館蔵展「近代日本画コレクション名品展～明治・大正・昭和～」関連講座  
題 名 「技法から見る日本画の近代から現代へ」  
日 時 平成 22 年 9 月 11 日(土)・25 日(土) 9 時 30 分の部と 13 時 30 分の部  
協 力 NPO 文化財を守る会  
講 師 静岡文化財保存修復センター 繁村 周氏 (東京藝術大学美術学部日本画専攻卒)  
会 場 講座室 (別途募集)

延べ参加人数 4 4 名

- 4) 企画展「手島右卿と静岡の書家展」関連講座  
題 名 「マイ筆をつくり、甲骨文字で自画像を書く」  
日 時 平成 23 年 1 月 10 日 (月・祝) 1 0 時と 1 3 時 3 0 分  
講 師 大杉弘子氏 (現代書家)  
会 場 講座室 (別途募集)

延べ参加人数 3 2 名

参加者合計 1, 5 3 6 名

## 3. 研修旅行

- 1) 「三菱一号館美術館と浅草寺特別拝観」  
期 日 平成 22 年 5 月 29 日 日帰り 参加人数 3 1 名  
同行者 高橋俊光  
見学地 三菱一号館美術館・浅草寺
- 2) 「ヤマザキマザック美術館と名古屋ボストン美術館」

- 期 日 平成 22 年 10 月 17 日 日帰り 最少催行人数に達せず中止
- 3) 「永遠の神秘が息づく国境の島 宍岐・対馬を巡る旅」  
 期 日 平成 22 年 11 月 12 日～14 日 2泊3日 参加人数 23名  
 同行者 高橋俊光  
 見学地 承天寺・福岡市美・宍岐猿岩・風土記の丘・原の辻遺跡・一支国博物館・和多都美神社・  
 烏帽子岳・対馬野生生物保護センター・韓国展望所・万松院・対馬歴史民俗資料館他
- 4) 短期歴史講座研修旅行「武田・今川氏の抗争の跡を訪ねる」  
 期 日 平成 22 年 11 月 21 日 日帰り 参加人数 29名  
 講 師 平山 優氏（山梨県立博物館主査）  
 同行者 安本 収  
 見学地 最恩寺・大島古戦場・湯之奥金山博物館・下山本国寺・古長禅寺・椿城跡・勝山城跡
- 5) 短期歴史講座研修旅行 「武田・徳川攻防の跡を訪ねて」現地見学会  
 期 日 平成 22 年 12 月 5 日 日帰り 参加人数 25名  
 講 師 大石泰史氏（戦国史研究会事務局長）  
 同行者 高橋俊光  
 見学地 掛川城・久野城址・馬伏塚城跡・横須賀城跡・高天神城址・高松神社・相良城址・諏  
 訪原城跡
- 6) 「日比野先生と行く静岡県西部にのこる微笑仏・木喰仏探訪」  
 期 日 平成 23 年 3 月 13 日 日帰り 参加人数 26名  
 講 師 日比野秀男氏（常葉学園大学造形学部長）  
 同行者 高橋俊光  
 見学地 蓮花寺・徳泉寺・方広寺・引佐仮宿個人宅

参加者合計 134名

#### 4. 友の会親睦会

- 期 日 平成 23 年 3 月 21 日 日帰り 東日本大震災のため中止
- 見学地 神奈川県横須賀市記念艦三笠・葉山町山口逢春記念館  
 親睦会場 観音崎京急ホテル

#### 5. 平成 22 年度友の会員数 総数 437名（前年比68名減）

内訳：一般会員 425名、団体会員 1 団体、特別会員 10名、学生会員 1名

### C. 画廊使用一覧

- |                 |                          |
|-----------------|--------------------------|
| 1) 創美静岡幼児画展     | 平成 22 年 5 月 25 日～30 日    |
| 2) 松島比呂子典俱和紙彩画展 | 平成 22 年 7 月 27 日～8 月 1 日 |
| 3) 山鳩会日本画展      | 平成 22 年 10 月 26 日～31 日   |
| 4) 心の風景稲葉幸子展    | 平成 22 年 11 月 2 日～7 日     |
| 5) 藤 白魚感謝のチャリティ | 平成 22 年 12 月 14 日～19 日   |
| 6) 藤 白魚仏画「節分会」  | 平成 23 年 1 月 29 日～2 月 6 日 |
| 7) 清水政幸・弥生備前作陶展 | 平成 23 年 3 月 24 日～27 日    |

#### ◆平成 22 年度博物館利用者数 21,525名

事 項	有 料	無 料	合 計	備 考

展覧会入館者数	12,575名	4,292名	16,867名	9展示
講座参加者数	4,520名		4,520名	年間9講座・短期2講座・展覧 会関連2講座、延べ参加者数
研修参加者数	134名		134名	研修旅行・親睦会
ボランティア 参加数		4名(1×4日)	4名	北斎の152景展
博物館利用者数総計			21,525名	前年比27,615名減

### D. 館内業務

#### 1. 公益法人への移行

平成 23 年 1 月 12 日に静岡県知事に対して公益財団法人への移行認定を申請し、3 月 18 日の静岡県公益認定等審議会が県知事に対し公益法人への移行認定を答申、3 月 23 日県知事より公益財団法人としての認定を受け、24 日に県教委で認定書を受領した。平成 23 年 4 月 1 日に公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団の設立登記を行い、同日財団法人駿府博物館は解散した。

#### 2. 職員の異動

8 月 1 日付けで常務理事館長土橋幸彦は財団法人蘇峰会事務局長兼務となる。  
 平成 23 年 1 月 15 日付けで静岡放送より木南憲一が学芸員として出向、同日着任した。  
 平成 23 年 3 月 15 日付けで静岡放送より佐野勝美が館長として出向、同日着任した。尚、土橋幸彦は同日付けで館長職を退任したが、引き続き常務理事・学芸員として在籍する。

#### 2. 館蔵品の修理

株式会社墨仁堂（静岡市葵区大岩 1-4-4）に依頼し、以下作品及び箱の修理を行った。

- ・ 土佐光孚 「富士・吉野・龍田」の本紙
- ・ 海野光弘 「宇津谷」の本紙
- ・ 三木翠山 「深園の月」の箱
- ・ 澤庵宗彭 「布袋自画賛」の箱
- ・ 狩野元信 「寒山拾得」の箱

#### 3. 作品・資料の購入・寄贈・寄託

- 1) 作品の寄贈  
 小田淑郎氏（浜松市）より自身の版画作品「森の記No5 棲C56」等 5 点の寄贈を受ける。（10 月 22 日受入）  
 鈴木敏靖氏（浜松市）より自身の版画作品「作品（陽・A・1）」等 3 点の寄贈を受ける。（10 月 22 日受入）  
 柿下木冠氏（静岡市）より自身の書作品「翺雲」1 点の寄贈を受ける。（平成 23 年 1 月 16 日受入）  
 大石千世氏（静岡市）より自身の書作品「星月夜」1 点の寄贈を受ける。（平成 23 年 1 月 16 日受入）  
 外山博彰氏（島田市）より自身の書作品「夢」1 点の寄贈を受ける。（平成 23 年 1 月 16 日受入）

是永尚志氏（静岡市）より自身の書作品「品」1点の寄贈を受ける。（平成23年1月16日受入）  
佐藤蕪堂氏（東京都大田区）より自身の書作品「荒城の月」（二曲屏風）1点の寄贈を受ける。（平成23年1月16日受入）  
後調廣志氏（浜松市）より自身の書作品「落下流水」（二曲屏風）1点の寄贈を受ける。（平成23年1月16日受入）  
時政荘子氏（富士市）より自身の書作品「汝もまた濁りか」（二曲屏風）1点の寄贈を受ける。（平成23年1月16日受入）

#### 2) 図書の購入

- |            |     |     |          |
|------------|-----|-----|----------|
| ①全国博物館総覧追録 | 年3回 | 3回  | ぎょうせい    |
| ②新美術新聞     | 月3回 | 36回 | (株)美術年鑑社 |

#### 3) 出版物・図書の寄贈

県内外博物館・美術館、教育委員会、大学、出版社、図書館他などより展示図録・研究紀要・館報・目録・ニュースだより・調査報告書・美術書など数十冊の寄贈

### 4. 展覧会印刷物の制作・図録・グッズ販売

- 1) 特別展・企画展・館蔵展9企画出品目録リーフレット(無料頒布)
- 2) 特別展「富士山に憑かれた男 北斎の152景」で図録・グッズ(委託有料頒布)
- 3) 特別展「滴水軒所蔵 絵で江戸の博物誌」で図録を500部制作(有料頒布)グッズ(委託有料頒布)
- 4) 企画展「手島右卿と静岡の書家展」で図録・グッズ(委託有料頒布)
- 5) 企画展「丁子屋コレクション歌川広重東海道五拾三次全揃い」でグッズ(委託有料頒布)

### 5. 委託販売契約

- 1) (株)サングループより書籍「院展百年の名画」1種類の委託販売契約（平成11年6月～継続中）
- 2) 株式会社コミュニティネットと歴史グッズ委託販売覚書（平成21年6月～）

## E. 館外業務

### 1. 作品の貸与・出品

- 1) 常葉美術館「初代県知事・関口隆吉」展（平成22年5月22日～7月4日）に寺崎広業「湖畔秋月」と有栖川熾仁親王「七言」を出品
- 2) 静岡市美術館「家康と慶喜一徳川家と静岡」展（平成22年12月11日～平成23年1月30日）に土佐光成「駿府鳥瞰図」を出品
- 3) 静岡市文化財資料館企画展「徳川家光公と静岡」展（平成22年10月9日～11月28日）に徳川家光「書状」を出品

### 2. 写真撮影及び掲載・出品の許可

- 1) (株)同朋社メディアプラン「趣味の水墨画7月号」表紙及び裏表紙に児玉希望「初夏」の掲載を許可し、写真を貸与
- 2) (株)イーアートに共栄火災海上保険(株)の2011年度カレンダーへ児玉希望「富嶽春晴」の掲載を許可し、写真を貸与
- 3) 静岡市文化財資料館企画展「徳川家光公と静岡」展（平成22年10月9日～11月28日）に土佐光成「駿府鳥瞰図」複製額（静岡市中央図書館蔵）の出品を許可
- 4) 鎌倉市鐮木清方記念美術館に「鎌倉市鐮木清方記念美術館叢12 鐮木清方の芝居絵」に「金閣寺の雪姫」「女歌舞伎」「梅柳中宵月」の掲載を許可し、写真を貸与
- 5) 早稲田大学理工学術院建築学専攻博士2年永野聡に(財)都市づくりパブリックデザインセンター主催まちの活性化・都市デザイン競技の提案作品の資料として土佐光成「駿府鳥瞰図」の掲載を許可し、写真を貸与

### 3. 静岡県教育委員会社会教育課「家庭の日優待事業」の参加

静岡県教育委員会社会教育課より依頼の「家庭の日優待事業」に参加し、昨年度に引き続き平常展に

限り当該月の第3日曜日(家族ふれあいサンデー)親子来館者の割引入館を実施・継続中。

### 4. 契約継続事項

- 1) 別館1階設置自販機の設置協定書をダイドードリンコ、ツキジフーズ、伊藤園3社と継続契約。
- 2) (株)トップアートと「駿府博物館(大石コレクション)日本画名品十二撰」複製画の販売契約再契約（平成21年12月25日～）
- 3) (株)トップアートと伊東深水『吹雪』複製画の販売契約再契約（平成21年12月25日～）
- 4) (株)トップアートと伊東深水『溪村春信』複製画の販売契約再契約（平成21年12月25日～）
- 5) 理想科学社印刷機「リソグラフRZ977」を松下リースクレジット株式会社とリース契約（平成19年3月27日～）
- 6) 松下プラズマテレビ「TH-42PZ700」を住信・松下フィナンシャルサービス(株)とリース契約（平成19年6月26日～）
- 7) (株)シャープファイナンスと「ミロク公益法人財務ソフト」リース契約（平成19年7月～）
- 8) (株)ミロク情報サービスと「公益法人財務ソフト」運用支援サービス契約（平成19年7月～平成22年12月）
- 9) (株)静銀リースとFMV-D5320(2台) FMV-C8230(1台)リース契約（平成19年7月～）
- 10) (株)表示塔とナビタ（静岡駅南口）地図表示契約（平成19年10月～平成22年9月）

### 5. 新規契約事項

- 1) (株)エンタテインメントプラスとチケットの委託販売契約（特別展「滴水軒所蔵 絵で見る江戸の博物誌」～）（平成22年7月～）
- 2) 前野会計事務所と顧問契約（平成22年7月～）
- 3) (有)マネージメントタクトとTKC会計システムのリース契約（平成22年10月～）
- 4) 静岡市と静岡市東海道広重美術館優待入館契約（平成22年10月～）
- 5) 静岡文化振興財団と静岡市美術館優待入館契約（平成22年10月～）